

「いじめのサイン」発見に向けて

いじめは決して許されないことです。しかし、どの子もいじめの被害者にも加害者にもなる可能性があります。学校では現在、いじめの防止や、早期の発見・対応に努めています。そこで、家庭においても、以下のチェックシートを参考に早期発見に努めていただくとともに、学校と十分に連絡を取り合うようお願いいたします。

いじめチェックシート 3つの確認

Q1 何が「いじめ」なのか？

- ☐ なかまはずれにされる（集団での無視） ☐ 服を脱がされる
- ☐ わざとぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、けられたりする
- ☐ お金や物をとられる ☐ 荷物を持たされる
- ☐ 物をかくされたり、こわされたり、捨てられたりする
- ☐ 嫌なことや恥ずかしいことを言われたり、させられたりする
- ☐ 遊びの中で、からかわれたり、命令されたりする
- ☐ パソコンや携帯電話（スマホ）で、悪口を書かれる

など、本人が心身の苦痛を感じていることは、「いじめ」です。

いじめかどうかは、**いじめられた子どもの立場で考えます。**

Q2 いじめられていることを、早く見つけるには？

いじめを受けている子には、以下の様子等が見られます。

- ☐ 表情が暗く沈んでいる ☐ 必要以上に親に甘えるようになる
- ☐ 学校や友達の話題がへる ☐ 学校（含む部活動）を休みたがる
- ☐ 親に多くのお金を要求する ☐ 携帯電話（スマホ）をいつも気にする
- ☐ 自分の部屋に閉じこもる ☐ 持ち物がなくなることがよくある
- ☐ 服が汚れたり破れたりしている ☐ 体にいくつもあざがある
- ☐ ささいなことでイライラする ☐ 夜、眠れない日が続く

日頃から、子どもと「会話をする」「食事を一緒にとる」「家事を一緒にする」「一緒に趣味を持つ」など、かかわりを持つことが大切です。

Q3 うちの子に限って、いじめはしていない？

- ☐ 買い与えていないものが家にある
- ☐ 与えたお金以上のものを持っている
- ☐ 特定の子どもから借りた物が家にある
- ☐ 言葉遣いが乱暴になり、友達を見下すような言葉を使う

様子が変わったと思ったら、子どもから話を聞き、学校に相談してください。

子どもから『いじめられている』と打ち明けられたら・・・

まずは、**「どんなことがあっても、あなたの味方だよ」**と伝えた後、次の点に心がけてください。

- 最後まで、ゆっくり子どもの話を聞く。
- 急いで事実関係を子どもから聞くことよりも、子どもの苦しい思いを受け止めることが大切です。
- 子どもに次のようなことは言わないようにしましょう。
「無視しなさい」 「あなたにも悪いところがある」
「大したことではない」 「弱いからいじめられる」



- **学級担任など学校の先生と会って相談することが大切です。**

『いじめられている側にも問題はある』という考えはやめましょう

- × いじめられる側がもっと強くならなければならない。
- × いじめられる方が悪い。

このような考え(言葉)は、いじめを助長し、いじめられて困っている子どもの心を傷つけます。私たち大人は、いじめを受けている子どもの辛さに気づき、子どもの心に寄り添うことが大切です。

最後に、いじめは根が深く、継続的に学校と家庭で様子を見守らなければなりません。少しでも気になることがある場合は、まずはご遠慮なく学校にご相談ください。

また、香取市教育委員会（50－1239）にもお気軽にご相談ください。

◆香取市相談電話「ほっとダイヤル」 50-1288

◆香取市いじめメール相談 soudan@city.katori.lg.jp



メール相談用
QRコード